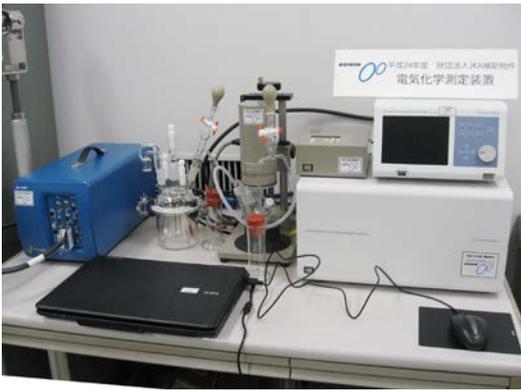


事業者名	和歌山県									
機器名	電気化学測定装置									
機器写真										
特徴・用途	<p>試料に電気的な信号を加えて化学反応を起こすことや、応答信号から試料内あるいは試料とそれを取りまく環境間の化学反応を調べる装置であり、金属の腐食防食、表面処理、燃料電池や太陽電池、有機EL等のセンサ、化学分析などに用いられる。</p>									
設置場所	和歌山県工業技術センター									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	H 25年1月	3	0	1	0	0	10	0	11	
	H 25年2月	0	0	0	0	0	0	0	0	
	H 25年3月	4	0	0	0	0	26	0	26	
	H 25年4月	7	0	0	3	0	0	8	0	11
	H 25年5月	9	0	0	9	0	0	0	9	
	H 25年6月	2	0	0	2	0	0	0	2	
	H 25年7月	15	0	0	12	0	0	4	0	16
	H 25年8月	4	0	0	1	0	0	3	0	4
	H 25年9月	4	0	0	3	0	0	1	0	4
	H 25年10月	9	0	0	4	0	0	10	0	14
	H 25年11月	6	0	0	0	0	0	18	0	18
H 25年12月	1	0	0	0	0	0	3	0	3	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで金属材料の耐食性評価について外観検査だけでしたが、当該設備の導入により耐食性を定量的に評価できるようになり、機械製品の品質向上に役立っている。また、増感色素材料の評価が可能となり、色素増感太陽電池材料の研究開発を加速することができた。 									
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・タンニン酸による防錆剤の研究開発に利用予定。 ・県内化学メーカーと共同で色素増感太陽電池用増感色素の新規開発に当該設備・機器を利用しており、最近では既存増感色素の性能に匹敵する色素の開発に成功している。 									
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-036koho.pdf									